

萩・海のパラダイスツアー実行委員会（萩博物館など7者による組織）

萩・海のパラダイスツアー

実施期間：平成28年6月24日（金）～10月21日（金）



【事業の内容・目的】

- 前年度「萩・海の学びトレインツアー」の増強版として、市内に散在する海に関する素材と列車・船など乗り物を組み合わせた子ども向け（または親子向け）ツアーを、市内の小学校2年生全員による「学校行事プラン」と、前年度同様に市内外からの希望者による「自由参加プラン」として実施。
- 「学校行事プラン」では、地域の子どもが幼少期から同世代そろって萩の海の地質・生物・文化・食材などに触れ、魅力や課題に気づき考えていく機会を作ること、郷土の海を守り育てる「地域力」の創出を目指した。
- 「自由参加プラン」においては、市内外の親子が互いに感化しあいつつ、漁師やダイバーなど海に関わる様々な立場の人々と交流することで、海の現状や課題に関する生きた情報に触れ、海洋環境、生物多様性、海洋文化を未来に引き継ぐ重要性に気づいてもらうことを目指した。

活動の様子

1. 学校行事プラン：東回りコース（須佐行き）

【開催日時】平成28年9月30日（金）、10月17日（月）、10月21日（金）
9：00～16：00

【開催場所】萩市内のJR山陰本線各駅～萩市須佐地域

【参加者数】337人（9/30：102人、10/17：113人、10/21：122人）

【活動内容・目的】

- 萩市内の西部の全ての小学校2年生（複式学級の場合は1年生も含む）を対象とする学校行事として、海への関心を高め動機づけをしながら列車で市内東部の須佐へ移動。
- 「萩ジオパーク構想」の要衝の須佐において、漁船による海岸の遊覧、徒歩での「畳岩」の探検、名物のイカ飯の試食をおこなうことで、萩の海岸の成立や魅力や課題を知り、郷土の海を守り育てていく「地域力」を育む機会となった。



当日朝、参加校の最寄駅に児童と教師が集合



列車で須佐へ向け発車、車内で萩博物館員（奥中央）が今後の行程や活動内容を説明



1. 列車で須佐駅へ到着後、須佐港の岸壁へ集合。萩市ジオパーク推進課員（左）が、これから乗る須佐湾遊覧船で見られる海岸地形の見どころや成り立ちなど予備知識を伝授。



2. 班に分かれ、漁船を使った須佐湾遊覧船で沿岸探検。海岸地形の意外な楽しさもさることながら、ほとんどの児童にとって初となる漁船への乗船や走行体験に歓喜。



3. 須佐湾付近には、陸上からは接近できない断崖や奇岩や洞門が多数。児童たちは遊覧船から見上げつつ、自分たちの郷土に予想だにできなかった海の「秘境」があることに感嘆。



5. 昼食後はバスで須佐の名勝「畳岩」エリアへ移動。砂岩と泥岩が交互に重なった独特の海岸地形を前に、ジオパーク推進課員（中央）が「畳岩」の正体や成り立ちなどの予備知識を伝授。ペットボトルに入れた色水の中で砂と泥が堆積する様子を実験できる道具（右）も使用。



4. 遊覧船から下船後、須佐港の旧魚市場で潮風に吹かれながら学校または班ごとに昼食。アレルギー対策のため、基本的には各自が持参した弁当を主食としつつ、県漁協須佐支店女性部の提供による名物「男命イカ」（みこといか：ケンサキイカの地方ブランド名）を使ったイカ飯も試食。



6. 予備知識を得た後、徒歩で「畳岩」本体までハイキング。海辺に約15mもの高さでそそり立つ「畳岩」の頂上に立ち、岩の色や質感を体感。前方には日本海の水平線が緩やかなカーブを描いて見え、自らの郷土の一角に広がる海の大自然の大迫力に感動。眺望の片隅には海岸に堆積した漂着ゴミが見え、郷土の海の現状と課題も目のあたりにした。

【参加者の声】

○日頃体験できない列車と船を学年全員で共有しながら、自分達の郷土の海にすばらしい海の恵みがあることを知ることができた。家族とまた来たいと思った。

○列車を普段は停車することのできない場所で止めてもらって車窓から海を見たりと、このツアーならではの独特の経験を楽しむことができた。

○郷土の海に浮かぶ島々が火山だったということ、「畳岩」など有名な海岸地形の成り立ちが以前思っていたものと違っていたことなど、新しい発見があった。

2. 学校行事プラン：西回りコース（大島行き）

【開催日時】平成28年6月24日（金）、8月5日（金）9：00～16：00

【開催場所】萩市内のJR山陰本線各駅～萩市大島（荒天時は萩地方卸売市場・萩博物館）

【参加者数】61人（6/24：22人、8/5：39人）

【活動内容・目的】

- 萩市内の東部・中部の小学2年生（複式学級の場合は1年生を含む）を対象とする学校行事として、海への関心を高め動機づけをしつつ列車と船で市内西部の大島へ移動。
- 漁業が活発な「元気な島」として知られる萩市沖の大島において、漁船での海岸遊覧、魚介類とのふれあい等をおこなうことで、萩の海の成り立ちや魅力や課題を知り、郷土の海を守り育てていく「地域力」を育んだ。



当日朝、参加校の最寄駅から大島への入口となる長門大井駅へ児童・教師が列車で集合



大島へ渡る拠点となる大井漁港にて、ジオパーク推進課員（右端）が島の成り立ちや渡船中に見られる海岸地形について説明



1. 大井漁港にて、これから渡ることとなる大島の予備知識を得た後、学校または班に分かれて大島の漁師さん達が操舵する漁船に乗船。この漁船で片道約15分かけて大島近海へ向かい、大島の周囲を巡って断崖や奇岩・洞窟を鑑賞しながら大島漁港へ。



2. 大島漁港へ到着、上陸後、まずは大島漁港内の防波堤にて魚釣り体験。大島公民館長が島の竹を使って製作した釣竿を海面に垂らすと、次から次へとアジやネンブツダイやメバルなどの魚が釣れて歓喜。アジの水揚げの多い大島ならではの海の豊かさを体感。



3. 魚釣り体験の後、県漁協大島支店の催事室に集合し、同支店女性部の提供による島の海の幸を使った弁当を会食。昼食の最中、檣上で萩市ジオパーク推進課員が大島の海岸に見られるカンカン石（叩くと高音が鳴る火山岩）など島の海岸の地質の特徴を紹介。



4. 昼食の後、県漁協大島支店の魚市場にて、大島で盛んなウニの加工体験。漁協女性部によるウニの殻むき実演を見学した後、児童もウニを手に持ち、道具を使って殻むきに挑戦。その後、さらに島で養殖されているヒラメやカサゴなどの幼魚の放流もおこない、さまざまな角度から島の漁業や文化を体感。



5. あいにく6/24の日は天候不順のため大島に渡ることができず、代替プランを実施。まずは県漁協萩地方卸売市場にて施設見学。水揚げされた魚を冷却する氷を製氷施設など、普段見ることのできない設備や工夫などを現場の方に教えてもらった。



6. 同じく大島に渡れなかった6/24の日は、萩地方卸売市場にて県漁協大島支店から搬送してもらった弁当を食べた後、萩博物館に移動して室内活動。館に保存されている大量の萩付近の貝殻を床に広げて自由に採集し、名前調べや貝殻を使った工作を実施。

【参加者の声】

○初めて船に乗って気持ちのよい風や揺れを体験したり、友達と交代で魚釣りをしたことで、郷土の海をたいへん楽しむことができた。

○魚釣りをして1匹も釣れず、海の「厳しさ」も知ったが、魚にも人にも同じ心があるので取り逃がした魚に大きくなってほしいと思った。

○さまざまな活動を通じて海に触れたことで、ゴミのない綺麗な海を守り大切にしていきたいと思った。

3. 自由参加プラン（須佐行き）

【開催日時】平成28年8月20日（土）9：00～17：00

【開催場所】JR山陰本線萩駅～萩市須佐地域

【参加者数】99人

【活動内容・目的】

- 県内外へチラシで募集をかけ、応募者から抽選で下記2コースを同時編成。同じ列車で萩市東部の須佐へ向かい、市内外の親子がお互いに、または海に携わる人々と交流しつつ、下記の活動を実施。
- 「GEO ッチングコース」では漁船や徒歩で海岸探検をし、地形の魅力を知ると共に現状・課題に触れ、海の環境を守る大切さに気づく機会とした。
- 「魚ッチングコース」では磯で魚介類の採集や観察をおこない、海の生物の多様性を体感しつつ、環境や生態系を未来に引き継ぐ意思を育んだ。



当日の朝、萩駅そばの萩市観光協会前に当ツアアの看板を設置し、参加受付



萩駅ホームに参加者全員が集合。事前説明の後、萩市長、萩市観光協会長などの参列により出発式を開催。



1. 列車で須佐へ向け発車。途中駅から「大地の女神メグ」（1号車「GEO ッチングコース」向け）、「浦島太郎」（2号車「魚ッチングコース」向け）が乗車し、参加者と交流しながら海への関心を高めていく。



2. 須佐駅へ到着後、「GEO ッチングコース」の参加者は須佐港から須佐湾遊覧船に乗って沿岸探検。須佐おもてなし協会員と語りつつ、断崖や奇岩や洞門の姿形や迫力に感嘆。



3. 「GEO ッチングコース」の参加者は午後には須佐海岸の名勝「疊岩」をハイキングで探検。「疊岩」の構造がよく見える岩盤に降り立ち、市内外の親子が交流しながら自然の造形美に触れ、海の自然の魅力や大切さを実感。



4. 「魚ッチングコース」の参加者は、須佐の一角にある「深まてかたビーチ」へ送迎バスで移動。まず、午前中はいくつかの家族がまとまって班をつくり、班ごとに海に親しみつつ、水中メガネや網を使って磯の生物を思い思いの方法で採集・観察。



5. 「魚ッチングコース」の参加者は午後は班ごとに可能な限り多様な環境に目を向け、多くの種類の生物を網羅することを目的に採集。地元ダイバーや菟博物館員や地域おこし協力隊と共に生物を種類分けし、身近な磯の生物多様性の豊かさや大切さを体感。



6. 「GEO ッチングコース」「魚ッチングコース」両方とも、現地活動の間に県漁協須佐支店女性部の提供による須佐の海の幸を使った弁当を会食。須佐の海の名物「男命イカ」（みこといか）を使ったイカ飯やサザエなども堪能し、食の面からも海の魅力や未来へ引き継いでいくことの大切さを実感。

【参加者の声】

- 日頃なかなか乗ることのない列車や遊覧船に乗って、海岸の地層や地形のでき方や奥深さを楽しみながら学ぶことができた。
- 久しぶりに海に入り、幼い頃に体験した海の「危なさ」と「楽しさ」を改めて感じた。この経験や感動を子ども達に引き継いでいきたいと思った。
- 船から海や地形を観察したり、実際に海に入っているいろいろな場所に様々な魚介類を見つけたりしたことで、このきれいな海を大切に守っていききたいと思った。

【事業全体のまとめ】

■前年度の教訓や成果を活かしつつ増強型の第二弾として実施したことで、山口県萩市における「海の鉄旅」が少しずつ定着し、内外からの期待を喚起できるようになってきた。

■初めて実施した萩市内の小学2年全員による「学校行事プラン」は、地域子ども達が幼少期から仲間と共に地元の海に触れ、「海に関わることは楽しいこと」と印象づける契機となり、生涯にわたって海と長く深く関わっていく出発点になったと思われる。

■前年度は須佐での遊覧船による地形観察や磯での生物観察のみであったが、今回は新たに大島での漁船遊覧や魚釣り、さらには荒天時の代替として魚市場の施設見学や萩博物館での室内貝殻採集などもおこなったことで、今後同様の事業を展開していく上での活動の選択肢や可能性が大きく広がった。

■本事業は、「萩ジオパーク構想」を推進する萩市において親子が海を切り口としつつ大地の成り立ちや魅力を学ぶ具体的かつ看板的な活動となったり、海を題材とした学習型活動のモデルケースになったりと、「歴史の町」として知られてきた萩にとって自然を舞台とした新たな体験型観光の可能性を切り開く契機になりうると思われる。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 萩市須佐総合事務所（実行委員会の一員として）	「自由参加プラン」および「学校行事プラン（東回りコース）」において、列車の目的地となる須佐での活動全体の受入れ、準備、緊急時の対応など
2. 萩市ジオパーク推進課（実行委員会の一員として）	全プランにおいて、列車内での地形・地質関係の動機づけ、目的地の須佐や大島での地質関係の現地指導、情報伝達など
3. 萩市まちじゅう博物館推進課（実行委員会の一員として）	「学校行事プラン（西回りコース）」において、
4. 萩市観光課（実行委員会の一員として）	「自由参加プラン」において、県内外在住者の視点に基づく本事業の魅力の創出、募集情報の発信・伝達など
5. 萩市観光協会（実行委員会の一員として）	「自由参加プラン」において、発車セレモニーの準備～実施、県内外在住者への募集情報の発信など
6. 萩セミナーハウス（実行委員会の一員として）	「学校行事プラン」において、列車内および現地での参加者の誘導、交流、エンターテイメントなど
7. 萩市学校教育課	「学校行事プラン」において、萩市内 20 校に対する企画の説明会の調整、各校の参加の意思・要望のヒアリングなど
8. 須佐おもてなし協会	「自由参加プラン」および「学校行事プラン（東回りコース）」において、須佐駅発着時の出迎えや見送り、須佐湾遊覧船の運航や船上での解説など
9. 山口県漁協須佐支店、同支店女性部	「自由参加プラン」および「学校行事プラン（東回りコース）」において、須佐の名物「男命イカ」を使ったイカ飯や地元産魚介類を含む昼食の調理・提供
10. 萩市役所大島出張所・大島公民館	「学校行事プラン（西回りコース）」において、移動や遊覧のための漁船の手配や各種活動を実現するため、山口県漁協大島支店への仲介やスケジュール調整
11. 山口県漁協大島支店	「学校行事プラン（西回りコース）」において、漁船で

	の移動や遊覧、魚釣り、ウニ割、昼食、稚魚放流などの企画・調整・実施など
12. 山口県漁協萩地方卸売市場	「学校行事プラン（西回りコース）」において、荒天時の代替プランとして市場の施設見学の対応や受入れ協力

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. 山口新聞	「萩でGEOタッチ魚タッチ 8月20日に特別列車ツアー」平成28年6月18日（土）
2. 萩ケーブルネットワーク	萩あれこれ「須佐と福栄の児童が参加 萩・海のパラダイスツアー」平成28年6月28日（火）17:00～
3. KRY山口放送	さわやかモーニング「萩の島で・・・海の魅力を体感！」平成28年8月10日（水）6:10～
4. 萩ケーブルネットワーク	萩あれこれ「萩・海のパラダイスツアー」平成28年10月24日（月）

以上